

曾比奈の

八王子神社

平成十二年二月五日号

大淵地区八王子本町にある八王子神社は、地域の皆さんから「はちおつつあん」と呼ばれ親しまれています。

今回は、この八王子神社にまつわる話を紹介します。

昔、大淵の曾比奈に牛や馬の商売をしている人がいました。ある日、商いの帰りに八王子というところで金の仏像を買いました。そして家の床の間に飾り、毎朝毎晩拝みました。すると、なすことすべてがうまくいき、村一

番の金持ちになり
ました。

ある晩、

夢の中に

その金仏

があらわ

れて「自分

だけ金持ちになるのはよくない。みんなが幸

せになれるようにしなさい」と戒めました。

そこで八つのかまを重ねて中に仏像を入れ、

上からかまでふたをして地中に埋めました。

その上にモミの木を植え、村の神様として社

殿を建てて八王子神社と名づけました。

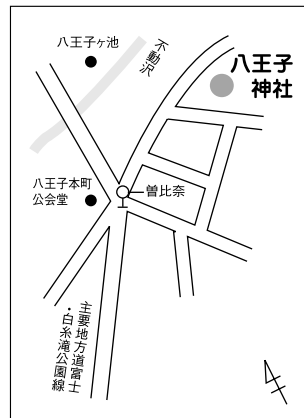
それからは、村じゅうの作物もよく実り、

みんなの暮らしも楽になりました。

あるとき、よその村人が「そんなばかなこ

とがあるか」と、八王子神社の前を馬に乗っ

て威張って通りました。すると突然大地がグ



ラグラと揺れて突風が吹き、黒雲がにわか
天を覆って雷が鳴り、大雨が降りました。馬
は驚いて暴れ、村人は馬から落ちて死んでし
まいました。ふびんに思った人々は、死骸がひを
馬と一緒に神社の西に埋め、馬頭観音として
祭りました。



▶ 八王子神社

八王子神社氏子総代 岩間 務さん(大淵)

昭和三十年代ごろまで水不足で困っていた
大淵地区では、八王子神社の近くにある八王
子ヶ池の水を生活用水に利用していました。
そのため、八王子神社は水の恵みを下さるあ
りがたい神社ということで、大淵村の氏神様
として祭られていました。

八王子神社では、昔から毎年二月二十一日
にお祭りが開かれています。昭和四十年代ご
ろまでは青年団が踊りや演芸を行ったり、露
店がたくさん並んだりと大変にぎやかでした。
よく親せきや友達も泊まりに来ましたね。お
客さん接待用に「はちおつつあん貯金」といっ
て積み立てていたくらいです(笑)。近ごろは
寂しくなってきましたが、このお祭りを後世
に伝えるため、八王子本町・一・二丁目の三
町内を挙げて盛り上げていきたいと思えます。